

神奈川県西地域と地域創成 オオカナダモ発生抑制対策検証事業



神奈川県西地域（南足柄市、松田町、大井町、開成町、小田原市）には全長で約25 kmの幹線農業用水路があり、土地改良区等が無償で施設の管理を行っている。

近年の環境変化によって水路内には外来種のオオカナダモやコカナダモが増え、特にオオカナダモの繁殖が著しい状況となっている。既に、地元自治会、行政を巻き込んだ形での駆除や水路底面へのコンクリート打設など、ハード・ソフト対策を導入しているものの、改善が見られていないのが現状である。さらに、オオカナダモの繁茂により、断面の阻害され、ゲリラ豪雨時における溢水被害等の不安も続いている。

そこで、地域創成科学科では、主に鬼柳用水内に繁茂するオオカナダモの生理・生態調査、流速、水質、河床材等の環境調査、実験室における栽培試験を行い、新たな駆除・管理（抑制）手法を創出することを最終的な目的として研究を進めている。併せて、駆除後のオオカナダモの有効活用についても考察を深めていく予定である。

